

初 小 だ よ り

㊦㊦はつらつとした子
(きらきら)

㊦やさしい子
(ほかほか)

㊦まなぶ子
(ぐんぐん)

令和3年6月11日 第4号

壱岐市立初山小学校 文責：校長 山川 祐司

初山っ子の心を見つめる教育週間 6/7(月)～6/13(日)

6月7日(月)教育週間のスタートに当たり、校長講話をしました。この教育週間は、県内で相次いだ子供による子供の殺害事件を受け、その再発防止や道徳教育(生命尊重)の充実を目指して、十数年前に始まり、県内のすべての学校がこの時期に取り組んでいるものです。今回の講話では、事件のことには生々しいので直接触れずに、日野原重明先生の言葉を引用して話をしました。

『いのちはどこにあるの』

今日はこれについて話します。(文カード「命」貼付)「あなたのいのちはどこにありますか?いのちがあると思うところを触ってみてください。」皆さん、左の胸の心臓のところにあるようですね。アニメなどでは、ハートの形をした心臓がいのちや心と言われることがありますからね。でも、心臓というのは、全身に酸素や栄養を含んだ血液を送り出すポンプのような働きをしているものです。このポンプが止まれば、もちろんいのちもなくなります。心臓はいのちそのものではありません。

いのちは、目には見えないもの、手で触ることもできないもの、だけど、わたしたちはみんなそのいのちをもっているのです。実は、「いのちはどこにあるの」という問いの答えはとても難しいのです。いのちの説明は難しいので、4年前に105歳で亡くなった日野原重明先生というお医者さんのお話を紹介します。日野原先生は100歳を過ぎてもお医者さんをされました。そして、私たちにいろいろなことを教えてくださいました。特に、いのちについては、「あなたたち一人一人がもっているいのちというのは、自分のもっている時間のことです。自分が使える時間のことです。あなたたちは毎日、その時間を使って、お勉強をしたり、運動したり、食べたり、ねむったりしています。時間を使うこと、それはいのちを使うことなのです。」と教えてくださいました。そして、「この時間の経過が寿命ということになります。だから、自分の時間を大切にすることは、自分のいのちを大切にすること、そして、時間であるいのちを何に使うかということがとても大切になってきます。ぼんやりして時間を過ごそうが、何かに集中して過ごそうが、時間をどう使うかは、一人一人の自由に任されています。」と話されていました。

日野原先生によると、「いのちというのは、体のどこかにはありません。いのちというのは、自分のもっている時間のことです。自分が使える時間のことです。」そして最後に、日野原先生は、「今あなたたちは、自分のいのち、つまり時間を自分のためだけに使っているかもしれません。でも、大きくなったら、どうか、自分以外の誰かのためにも、あなたのいのち、つまり時間を使ってください。」と話されました。

これからも時間を大切に、自分のいのちを輝かせてほしいと思います。その時に大切なのが「夢と目標」です。「夢と目標」がないと、毎日ダラーと過ごしてしまいます。「夢」は今から少しずつ見付けて大きくしていっても良いです。でも、「目標」だけは絶対に必要です。4月に決めた目標(めあて)を頑張り続けることが大切ですが、目標は少し変えても大丈夫です。目標を決めて、やってみて、ふり返って、もう一度やってみる、(PDCAサイクル)この繰り返しが大切なのです。そうすることが、いのち＝時間を大切にすることにつながります。これでお話を終わります。

交通少年団交通指導講習

今年度コロナ禍のために交通少年団結団式ができなかったので、指導員の方が各校を回って、旗の振り方等の指導を6月7日(月)にしてくださいました。今年度の交通少年団員は、6年野村遼太さん、田口怜奈さん、5年谷村心希さん、清原舞花さん、4年大久保心皓さん、村部翠さんです。



グランドゴルフ (クラブ活動)

6月7日(月)の午後、暑いほどの好天の下で、ゲストティーチャーとして、初山地区の老人クラブの皆様にご指導いただき、グランドゴルフを行いました。

ゲストティーチャーは、山川和夫・静子様、名田日吉様、谷口とみ子様でした。

子供たちと老人クラブの皆様と教職員が一堂に会し、楽しいひとときを過ごしていました。



拡大読み語り

6月8日(火)に拡大版読み語りを行いました。ゲストティーチャーとして、いつもの坂口善子様、山内礼子様、そして今回初めて、人権擁護委員の牧本行秀様に参加していただきました。内容は、



本様が「まのいいりょうし」という本を基に、子供たちのいろいろなためになる話を熱く語っていただきました。坂口様は「おこだでませんように」という拡大絵本で読み聞かせをしてくださいました。山内様はクイズを出してくださいました。楽しませていただきました。

6月7日(月)～18日(金)を読書旬間とし、様々な取組を行ってきました。ますます本が好きな子供たちが増えることを願います。

なかよし音楽

6月10日(木)になかよし音楽をしました。内容は、

①みんなで「なべなべそこぬけ」→大きな円づくり(2人→4人→8人→16人→32人)

②円になって、エッグシェイカー(小マラカス)をリズムに合わせて回していくリズム遊び

③3～6年「My Wish」歌唱

でした。子供たちは、歌ったり、動いたりすることが大好きです。山口教諭の指導や演出により、30分程度、子供たちは楽しいひとときを過ごしました。



芋差し

今年度は体育館の周りのみ芋差しをしますが、それに先だって、苗をいただいて



いる下条幸子様の御子息秀昭様が、6月7日(月)の午後、畝立てをしてくださいました。昭和60年度卒業の大先輩です。子供たちのためにということでした。有り難いことです。初山小は地域に支えられていることを痛感しました。

そして、6月10日(木)に下条様の御指導の下、「甘太くん」「紅まさり」「シルクスweet」の芋苗を差ししました。今年度は保育園児の参加は叶いませんでしたが、子供たちは楽しそうに差していました。

お知らせ

【プールについて】

昭和58年7月23日に竣工したプール(私が新規採用教員として初山小に赴任した前年度)が、近年老朽化で漏水がひどくなっていました。昨年度は、プール底面の防水工事が上手くいき、水泳指導直前に漏水が止まり、水泳指導を行うことができました。しかし、その後秋口から冬にかけて水が落ちてしまい、空の状態になりました。

今年度に入り、一度プール底面の防水工事を行いました。漏水が止まりませんでした。一日に10cm程度水が下がりました。最後の望みとして、現在、配水管の点検をしてもうようようにしています。ただし、プール底面の地下から漏水している場合は、プールの素材がFRP樹脂(強化プラスチック)なので、簡単には修復工事ができません。

さらに、万一、今年度使用ができないときの対応として、志原小のプールをお借りするように話を進めています。3年生以上が7月に4日間、バスを借り上げて行きます。なお、小プールについては、清掃も済み、水も張り、今でも泳げる状態なので、1・2年生は初山小のプールで、十分に水泳学習をすることができます。

財政難の中、苓崎市教育委員会には御配慮いただいていることに感謝しています。